



安全・安心で新鮮な野菜も ダンボールコンポストで 焼却費とCO2削減を!

生ごみの80パーセントは水分です。しっかりと減量すれば、焼却費が大幅に削減でき、地球温暖化防止（CO2削減）にもつながります。8月15日号では「水切り」での方法を紹介しましたが、今回は「ダンボールコンポストによる堆肥化」を紹介します。

■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1421

市やコミセンで基材を販売

生ごみ減量の対策として、ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像（ゴミ住連・宗像）が進めているダンボールコンポストによる堆肥化は、効果的な減量策です。

ゴミ住連・宗像が、市と協働でダンボールコンポストに取り組み始めて6年目。今までに約170回の講座を開催し、約1200人の実践者がいます。

1箱で約7キロの堆肥

取材した7月22日に池野コミセンで開かれた講座には、数人の受講生がダンボールコンポストを持参。出来具合や心配事に対して、ゴミ住連・宗像の代表・倉本和子さんやスタッフが、緊張をほぐすようにユーモアを交えて説明していました。

「この箱なら1日に1キロの生ごみを入れても大丈夫。1箱で約51・5キロの生ごみから約7キロの堆肥ができます」。女性の受講生が多い中、垣田功男さん（60歳代・池野）も受講。「みかんや柿などの果樹類の堆肥です」と熱心に聴い

ていました。谷井博美市長も実践しています。知人から生ごみ堆肥化の効果を勧められて始めたそうです。



ダンボールコンポストについて倉本さん（手前）に相談する受講者

平成22年度の家庭の燃やすごみ量は、約1万7000トン。そのうち、約40パーセントを占める生ごみを全て資源化すれば、億単位の新しい財源が生まれます。

癒やしの里で老後を楽しみたい

東郷地区コミュニティ運営協議会の山田久事務局長（60歳代）も、ダンボールコンポストでの堆肥化を始めました。地域での生ごみ減量化を応援する気持ちと、癒やしを求めて安全・安心な野菜作りに挑戦。100平方メートルのシルバー農園を借りて、昨年春から作業に励んでいます。



シルバー農園で里手の世話をする山田さん

山田さんは妻の清子さん（60歳代）と二人暮らし。野菜くずや魚の骨などの生ごみが出ます。講座を受けて、堆肥づくりがぜん興味を抱いたそうです。

取材時、農園にはトマトや唐辛子（鷹の爪）、里芋などが所狭しに実っていました。ダンボールコンポストでの堆肥の影響で、里芋の葉は、青々と元氣。掘れば相当数の里芋が付いている感じでした。

唐辛子も見事。葉も青々として、鈴なりに実をつけて秋の収穫が楽しみです。「雑草取りやダンボールコンポストの管理など、妻の協力を感謝しています。癒やしの里で老後を大いに楽しみたいです」と山田さん。

わたしたち コンポスト 使ってま〜す

市では、生ごみの減量を推進するため家庭用の生ごみ処理機器を購入した人に、購入費の一部を補助していますが、使い始めてみたものの「虫がわいた」「面倒くさい」という理由でやめてしまう人もいます。せっかく購入した生ごみ処理機器を家庭で眠らせるのは「もったいない!」。そこで、上手に使っている人の声を紹介していきます。今回は、ひかりヶ丘（河東地区）に在住の安岡裕子さんです。

■問い合わせ先 生活環境課 ☎(36) 1421



ダンボールコンポストと設置型のコンポストを使い分ける安岡さん

設置型のコンポストを10年ほど前に始めましたが、臭いが強く発酵促進剤を使っても虫がわいたので7年ほど休んでいました。「庭の草専用で使うといい」と聞いて、3年ほど前から再度使っています。設置型のコンポストに生ごみを入れて使う場合は、水分調整と酸素補給がポイントです。庭の雑草などを抜いた後2〜3日干してから乾燥剤代わりに使うといいようです。生ごみ、草、生ごみと、サンドイッチのようにします。

酸素を入れてあげるために、スコップでよく混ぜます。コンポストのふたは換気のため、木切れなどを挟んで少し開けておきます。虫対策として、布などをかぶせています。

今は、生ごみはダンボールコンポストへ、雑草や太くない庭木の剪定（せんてい）枝などは設置型コンポストへと使い分けています。剪定枝だけでもやはり虫はつきますが、飛び立つ虫ではないので気にはなりません。生ごみを入れなくても立派な腐葉土になりますよ。

家族と一緒に挑戦してみませんか

家族と一緒に堆肥を使って農作業をすれば、楽しいですよ。四季折々、安全・安心で新鮮な野菜や果物が食卓を飾ります。最高の幸せです。

子どもや孫が手伝ってくれば「食育」にもなります。嫌いだっただ野菜



で、この方法が最適でしょう。休耕田を借地できれば、次は米や大豆などの穀類にも挑戦してみたい」と意欲にあふれています。

コミュニティから広がる 生ごみ減量大作戦 生ごみ堆肥化講座

市では、市民サービス協働化提案制度で、「ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像」と生ごみ堆肥化講座を開催。講座は、生ごみ処理機器各種の使用方法を紹介する本講座と、実践後の疑問などに答えるフォロー講座の2回です。受講無料。

●申込方法 各申込先へ電話で申し込む
*ダンボールコンポストの販売あり。一部を除くコミセンでも販売と相談会を開催（相談会の日は14ページを参照）。詳しくは、各コミセンへ問い合わせを
■問い合わせ先
▽講座に関する事
同連合会・宗像（倉本）☎(32) 0730
▽事業に関する事
生活環境課☎(36) 1421

【10月の講座】
●場所・日程・申込先
●下表参照
●時間 いずれも午前10時〜同11時30分

場所	日程		申込先
	本講座	フォロー講座	
市役所本館・201会議室	10月12日(水)	11月9日(水)	ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像(倉本) ☎(32)0730
東郷コミセン	10月14日(金)	11月11日(金)	同コミュニティ ☎(36)7711